

30年後の
名古屋市の
公園緑地

協働か
民営か
第三の道か

整備
管理
運営



講師：眞弓浩二氏
(アルダー環境設計室)

1984年より(株)アルダー環境設計室において、森林・緑地・公園に関する計画・設計業務に従事。1992年、雑木林研究会(林進会長)の発足に参画以後、愛知・岐阜・三重・静岡の各地で市民参加による里山保全活動の立ち上げ支援、ボランティア育成支援、植生管理技術の普及・指導にあたる。現在、雑木林研究会事務局長、なごやの森づくりパートナーシップ連絡会事務局、なごや生物多様性保全活動協議会会長。



講師：則竹登志恵氏
(玉野総合コンサルタント)

玉野総合コンサルタント(株)建設技術部ランドスケープ課課長。技術士(総合技術監理部門、建設部門/都市及び地方計画)、RLA(登録ランドスケープアーキテクト)、公園管理運営士。入社以来25年以上、公園緑地に関する調査や計画・設計、運営管理計画などに関わる業務に従事。現在、名古屋工業大学大学院博士後期課程にてパークマネジメントに関する研究に取り組んでいる。

日時 2018年 **7月25日(水)**
18:30—20:00

場所 名古屋工業大学 4号館会議室2

30年後の地域社会を思い描きながら、コミュニティと工学のあり方を探る連続ワークショップ。1回目のテーマは「公園」です。

近年、パークPFIをはじめ、民間活力を活用した公園経営の議論に拍車がかかっています。一方で、アダプト制度等、公園緑地の手入れやマネジメントは、ボランティア活動や市民と行政の協働の現場としても長い歴史を重ねてきました。

公園緑地の整備や管理に、専門家として長年関わられてきた二人のゲスト講師を交えて、30年後の公園マネジメントを考えます。

■お申込み方法

参加者氏名、所属、連絡先を記載の上、メールにてお申し込みください(7/23締切)。

メール community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp

※資料準備の都合上、事前申し込みにご協力ください。

※いただいた個人情報は、コミュニティ創成教育研究センターの情報提供に使わせていただきます。